

第8 意見

本監査の結果は上記のとおりであるが、中野駅周辺まちづくり事業に関して、次のとおり意見を述べる。

中野駅周辺まちづくり事業は、市街地再開発事業（中野四丁目西地区、中野四丁目新北口駅前地区、囲町西地区、囲町東地区、中野二丁目地区）、土地区画整理事業（中野四丁目新北口駅前、中野三丁目、中野二丁目）、街路事業（新北口駅前広場、中野駅西側南北通路・橋上駅舎等）や中野区新庁舎整備事業の11事業が並行して進められている。

今回監査において指摘した中野駅新北口駅前広場追加基本設計及び関係機関協議支援業務委託は、業務の進行管理が不十分だったため、不適正な変更契約を繰り返して行っていたものである。このような一部の事業の遅れは全体の遅延を招きかねない。区がこれまでに経験したことのない多くの事業が一体となって行われる中野駅周辺のまちづくりを遅滞なく着実に進めるためには、関係機関との協議などを密接に行い、各事業の進捗状況を把握し広い視野に立って調整を図ることが重要である。所管は情報の共有や連携を図るとともに各事業の進捗状況を的確に把握し、必要に応じて外部専門家の力を借りるなど、中野駅周辺まちづくり全体の統制を適切に行われたい。

最後に、中野駅周辺まちづくり事業は、中野区として、これまでになく大規模なプロジェクトとなっており、東京の新たなエネルギーを生み出す活動拠点として、中野区民のみならず多くの関心が寄せられているところである。この中野駅周辺まちづくり事業が着実に進められ、多彩な魅力あるまちが実現することを期待したい。